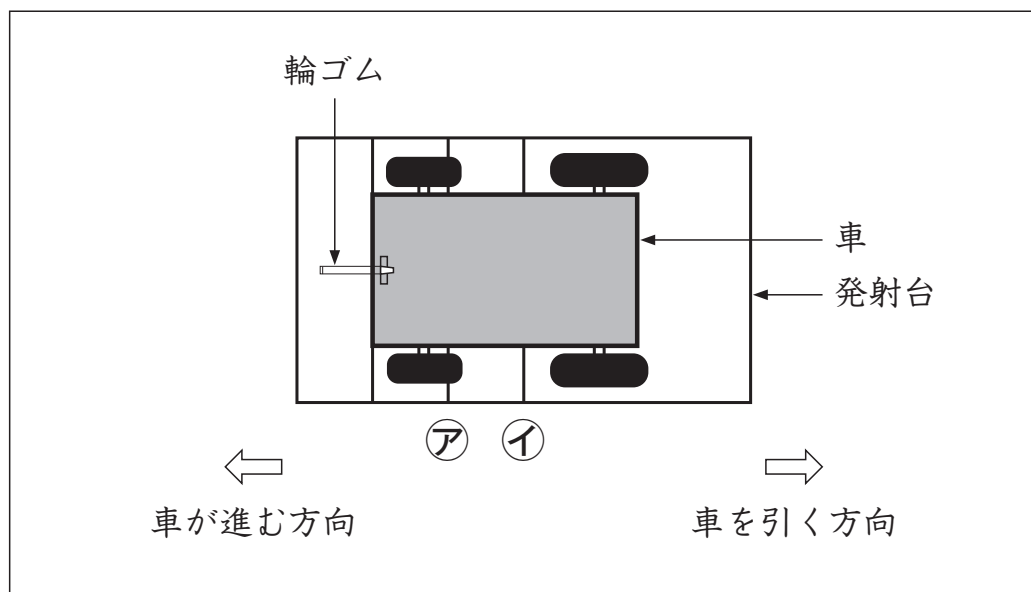


3

かずやさんたちは、ゴムの力で動く車を作りました。

下の図のように車と発射台を輪ゴムでつなぎ、車を引いて輪ゴムのばしてから放すと、車が進みます。車の先頭が、図のⒶの位置に来るまで輪ゴムをのばした場合と、Ⓐの位置に来るまで輪ゴムをのばした場合に、どれだけ車が進むのかを調べます。



まず，車の先頭が㊦の位置に来るまで輪ゴムをのばした場合の，車が進んだきよりを5回調べ，表1のようにまとめました。表1をもとに，きよりの平均を考えます。

表1 ㊦の位置に来るまで輪ゴムをのばした場合の記録

回数	車が進んだきより
1	2 m 73 cm
2	80 cm
3	2 m 87 cm
4	2 m 69 cm
5	2 m 91 cm



2回目は，車が大きく曲がってしまい，記録を正しくはかることができませんでした。

そのため，2回目の記録を^{のぞ}いて平均を求めます。

- (1) 2回目の記録を除いて，4回分の記録を使って車が進んだきよりの平均が何cmになるかを求めます。下の **1** から **4** までの中の，どの式で求めることができますか。1つ選んで，その番号を書きましょう。

1 $(273 + 287 + 269 + 291) \div 4$

2 $(273 + 80 + 287 + 269 + 291) \div 4$

3 $(273 + 287 + 269 + 291) \div 5$

4 $(273 + 80 + 287 + 269 + 291) \div 5$

次に，車の先頭が㊦の位置に来るまで輪ゴムをのばした場合の，車が進んだ
きょりを5回調べ，表2のようにまとめました。表2をもとに，きよりの
平均を考えます。

表2 ㊦の位置に来るまで輪ゴムを
のばした場合の記録

回数	車が進んだきょり
1	7 m 52 cm
2	7 m 31 cm
3	7 m 54 cm
4	7 m 20 cm
5	7 m 43 cm

かずやさんは，平均を求める計算を簡単^{かんたん}にするために，7 m をこえた部分
に着目し，次のように平均を求めました。

【かずやさんの平均の求め方】

7 m をこえた部分の平均を求めます。

$$(52 + 31 + 54 + 20 + 43) \div 5 = 40$$

7 m に，求めた平均の 40 cm をたします。

車が進んだきよりの平均は，7 m 40 cm です。

【かずやさんの平均の求め方】を聞いたはるなさんは、次のように考えました。



7 m のかわりに, 7 m 20 cm をこえた部分に着目しても, 平均を求めることができます。

- (2) 7 m 20 cm をこえた部分に着目した平均の求め方を, 言葉や式を使って書きましょう。